

青森県行財政改革行動計画の進捗状況等について

1 進捗状況

計画期間の2年度目となる令和2年度は、昨年度より20件増となる187件に着手しており、昨年度より24件増となる40件が完了するなど、順調に取り組んでいる。

(件)

区分	実施項目	うち	うち	うち	
		完了	取組継続中	未着手	
令和2年度実績	187	40	147	0	
内 訳	I 業務改革	69	34	35	0
	II 連携・協働	56	6	50	0
	III 行財政基盤	62	0	62	0
(参考)令和元年度実績	167	16	151	0	

2 令和2年度の主な取組状況

《 I 業務改革 》

○青森県庁版BPRの実施 (P.1)

- ・令和元年度・2年度に選定した合計38業務について、RPAやAI-OCRといったICTの活用を含め順次改革を進めた。これらのうち、警察本部における職員の勤務管理業務をはじめ28業務（ICT：13業務）について、改革が完了した。

○県民の利便性向上に資する改善の推進 (P.5)

- ・行政サービスの質の向上及び効率的な事務処理を推進するため、押印の見直しに着手した。

○ICT活用による業務効率化(P.13)

- ・県立学校における児童生徒に関する情報管理について、事務の効率化を図るため、統合型校務支援システムを導入した。

○専門的業務の知と技の継承 (P. 16)

- ・公害関係分析業務について、技術を効果的・継続的に継承し円滑に業務を遂行するため、現場における試料採取等の手順を記録した動画を作成するとともに、分析マニュアルを改訂した。

《Ⅱ 連携・協働》

○民間移行・民間委託の推進 (P. 28)

- ・森林保全巡視員等、漁業法に基づく漁業監視員や、各部局が配置していた専任当直員等について、民間委託を実施した。

○指定管理者制度の活用推進・運用改善 (P. 32)

- ・青森県営駐車場及び青森県営柳町駐車場について、民間事業者のノウハウをより一層活用するため、PFI法に基づく事業として新たな指定管理期間における公募・指定管理者の選定を行った。

○大学等との連携 (P. 37)

- ・若者・女性の県内定着・還流促進を図るため、首都圏等大学との学生UIJターン就職促進に関する協定締結を推進、令和2年度は、新たに5大学と協定を締結した。

○事務権限移譲の推進 (P. 46)

- ・届出者の利便性向上のため、青森県景観条例に基づく大規模行為の届出に関する事務について、2020年4月から十和田市へ権限移譲した。

《Ⅲ 行財政基盤》

○財政健全化の推進 (P. 79)

- ・令和3年度当初予算において、財源不足額（基金取崩額）を前年度と同額（ゼロ）とし、収支均衡型の財政運営を継続した。

○公共建築物の長寿命化等の推進 (P. 92)

- ・警察本部庁舎等の長寿命化を図るため、警察本部庁舎改修工事に着手した。